

# 新日軽 ファインポートIIワイドZ-L 施工説明書

この度は、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。  
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

## ◎組立・施工の前に

- 本施工説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書および同梱されている「取扱説明書」は施工後必ず施主様へお渡しください。
- **横連棟タイプ**についての納まり図は**本施工説明書**をご覧ください、**施工方法は別途各々の施工説明書**をご覧ください。
- ガス給湯器などの排気熱が、製品に直接当たらないように事前に確認してください。排気による塗装劣化・剥離のおそれがあります。(もし当たる場合は、給湯器メーカーの排気ダクト設置をお勧めします。)

## ○注意(設置場所・設置位置について)

- 本品は建築基準法対応品です。建築基準法では、各地域毎の基準風速及び積雪量を設定しておりますので、各地域の所轄窓口でご確認ください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 柱移動は弊社指定範囲内にしてください。
- 本品はサイドパネルの取付けはできません。

## ○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

## ■基準風速(Vo)、積雪量対応表

タイプ	サイズ	全サイズ
全タイプ	基準風速Vo	36m/s
	積雪(比重0.2)	1200N/m <sup>2</sup> (50cm)
	積雪(比重0.3)	1200N/m <sup>2</sup> (40cm)

注\*地表面粗度区分Ⅲ地区にて算出  
\*一般地域の積雪比重は0.2にて算出  
\*積雪地域の積雪比重は0.3にて算出

## — 目次 —

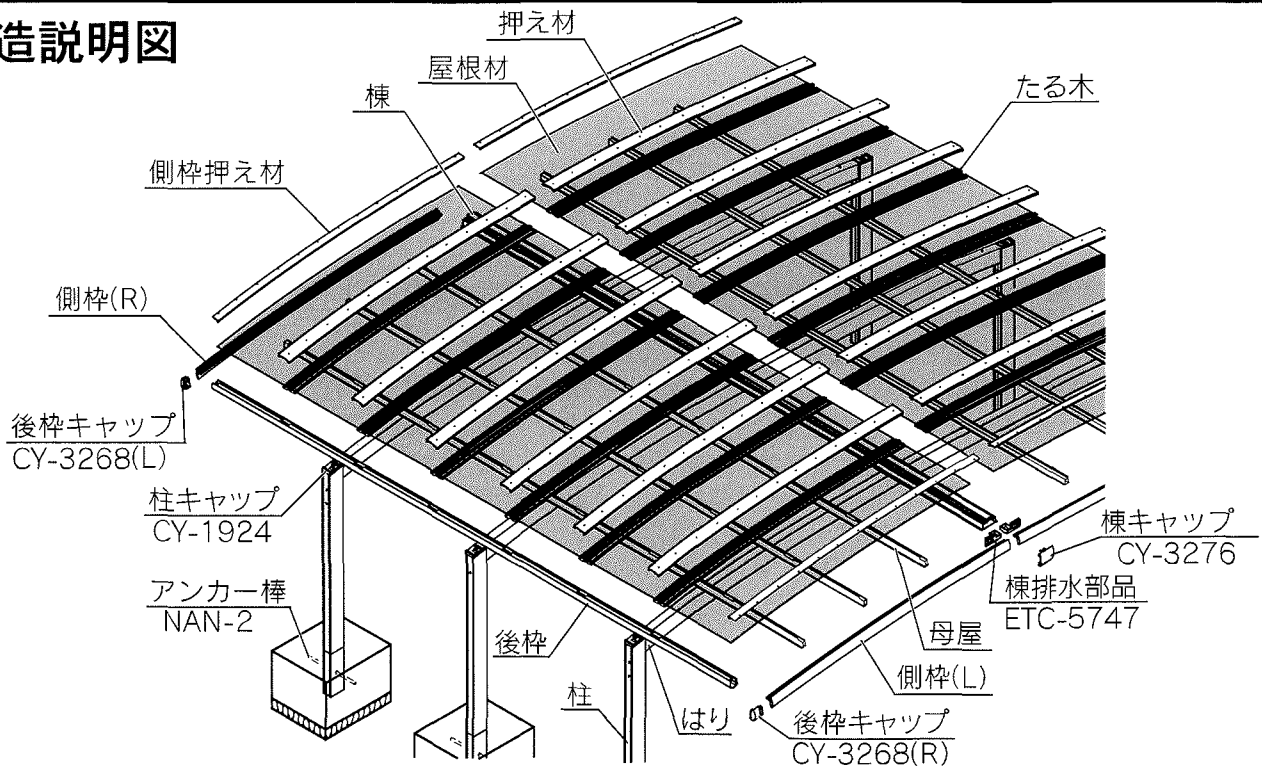
組立・施工の前に	.....1	側枠・たる木の取付け	.....7
注意(設置場所・設置位置について)	.....1	コンクリートの打ち込み	.....7
施工時の注意事項	.....1	屋根材および押え材の取付け	.....8
梱包明細、構造説明図	.....2	雨樋の組立	.....9
基礎寸法表、納まり図	.....3~4	施工完了時の注意事項	.....9
基礎の施工	.....5	オプション品のご紹介	.....9
はりの取付け	.....5	連棟部・延長部の組立	.....10~11
棟・後枠・母屋の取付け	.....6		

# 梱包明細

部材セット明細		
梱包名称	部材・部品名称	数量
標準柱	柱	2(2本入り)、1(1本入り)
長柱	はり	1(1本入り)
はり	側枠	左右各1
側枠・たる木	側枠押え材	2
	たる木	6(奥行50用)、7(奥行57用)
	押え材	6(奥行50用)、7(奥行57用)
	棟・後枠セット	棟1、後枠2、たて樋2
母屋セット	母屋	4(間口36・42用)、6(間口48~54用)、8(間口60用)
柱・はりジョイナー		2(2本入り)
屋根材	ポリカーボネート板・熱線遮断ポリカーボネート板、クリアマットポリカ板	3(3枚入り)、4(4枚入り)
	アルミ樹脂複合板	2(2枚入り)、3(3枚入り)

部品箱明細												
組立手順	部品名称	部品記号	数量									
			36・42用標準	48~54用標準	60用標準	36・42用連続	48~54用連続	60用連続	36・42用延長	48~54用延長	60用延長	
基礎の施工	アンカー棒	NAN-2	6	6	6	6	6	6	2	2	2	
	注意表示ラベル(40cm)	ML-1064	6	6	6	6	6	6	2	2	2	
はりの取付け	緩み止めM8×20六角セムスボルト	BN-1292-01	42	42	42	42	42	42	14	14	14	
	柱キャップ	CY-1924	6	6	6	6	6	6	2	2	2	
棟・後枠・母屋・側枠・たる木の取付け	前後枠ピース	LB-1353	6	6	6	6	6	6	2	2	2	
	母屋固定金具	HO-2179	24	36	48	24	36	48	8	12	16	
	φ4×13セルフドリリングビス	DDAP4×13W	156	198	240	146	186	226	46	58	70	
	孔ふさぎシール	NM-73	42	54	66	42	54	66	14	18	22	
	後枠キャップ	CY-3268	左右各2	左右各2	左右各2							
	棟キャップ	CY-3276	2	2	2							
	棟排水部品	ETC-5747	左右各2	左右各2	左右各2							
	コーキング剤	NBC-256	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	面材及び押さえ材の取付け	φ4×10トラス (タッピン2種)	2TA4×10S	184	238	292	164	212	260	44	56	68
	連棟用・延長用	後枠連結ブラケット	AB-1365				2	2	2	2	2	2
後枠連棟カバー		CY-3295				2	2	2	2	2	2	
母屋連結ブラケット		UB-1018				4	6	8	4	6	8	
棟連結ブラケット		UB-1072				1	1	1	1	1	1	
縦連棟カバー		CY-1953				1	1	1	1	1	1	
縦連棟パッキン		BC-5673				1	1	1	1	1	1	
止水パッキン		BU-1362				4	4	4	4	4	4	
M8×14六角ボルト		BH08×014S				8	8	8	8	8	8	
M8用平ワッシャー		ZC08S				8	8	8	8	8	8	
M8用スプリングワッシャー		ZF08S				8	8	8	8	8	8	
φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W				8	8	8	8	8	8	
φ4×10トラス (タッピン3種)		3TA4×10S				17	25	33	17	25	33	
ゴムワッシャー付きテクスビス		BN-310-01				4	4	4	4	4	4	
雨樋の組立て		雨樋部品セット (ETC-4101)	落し口	ETC-2646	2	2	2	2	2	2	2	2
	落し口パッキン		ETC-2669	4	4	4	4	4	4	4	4	
	ドレンエルボ		ETC-4077	2	2	2	2	2	2	2	2	
	エルボー		ETC-2435	4	4	4	4	4	4	4	4	
	固定バンドA		ETC-2436	6	6	6	6	6	6	6	6	
	固定バンドB		ETC-2437	6	6	6	6	6	6	6	6	
	水抜き孔フサギ		ETC-2649	2	2	2	2	2	2	2	2	
	φ4×12トラス (タッピン3種)		3TB4×12S	8	8	8	8	8	8	8	8	
	φ4×19セルフドリリングビス		DDAP4×19W	6	6	6	6	6	6	6	6	
	接着剤		BC-2659	2	2	2	2	2	2	2	2	

## 構造説明図



# 基礎寸法表

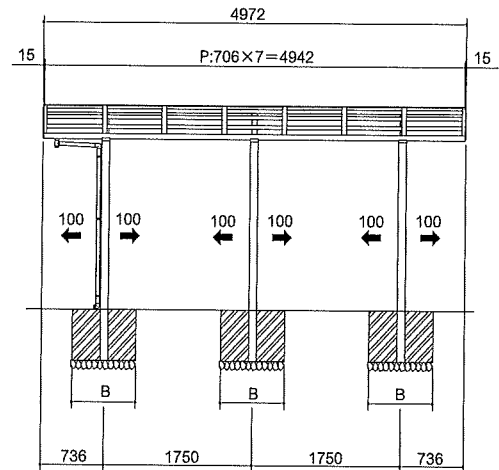
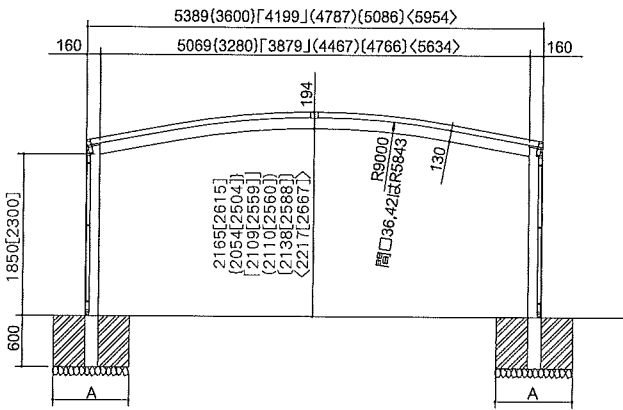
地耐力	間口36奥行50	間口42奥行50	間口48奥行50	間口51奥行50	間口54奥行50	間口60奥行50	間口36奥行57	間口42奥行57	間口48奥行57	間口51奥行57	間口54奥行57	間口60奥行57	
	単体・連棟・延長 (A×B)	30KN/m <sup>2</sup> 50KN/m <sup>2</sup> 100KN/m <sup>2</sup> 200KN/m <sup>2</sup>	500×500 500×500 500×500 500×500	500×500 500×500 500×500 500×500	550×550 500×500 500×500 500×500	550×550 500×500 500×500 500×500	600×600 550×550 500×500 500×500	700×700 550×550 500×500 500×500	550×550 500×500 500×500 500×500	600×600 550×550 600×600 550×550	700×700 600×600 600×600 600×600	750×750 650×650 600×600 600×600	800×800 700×700 600×600 600×600
よこ連棟 (A×B)	30KN/m <sup>2</sup>	500×500	500×500	550×550	—	—	550×550	600×600	—	—	—	—	
	50KN/m <sup>2</sup>	500×500	500×500	500×500	—	—	500×500	550×550	—	—	—	—	
	100KN/m <sup>2</sup>	500×500	500×500	500×500	—	—	600×600	550×550	—	—	—	—	
	200KN/m <sup>2</sup>	500×500	500×500	500×500	—	—	500×500	550×550	—	—	—	—	
よこ連棟 (C×B)	30KN/m <sup>2</sup>	750×500	750×500	750×550	—	—	750×750	750×750	—	—	—	—	
	50KN/m <sup>2</sup>	750×500	750×500	750×500	—	—	750×750	750×750	—	—	—	—	
	100KN/m <sup>2</sup>	750×500	750×500	750×500	—	—	750×750	750×750	—	—	—	—	
	200KN/m <sup>2</sup>	750×500	750×500	750×500	—	—	750×750	750×750	—	—	—	—	

## 納まり図(単体)

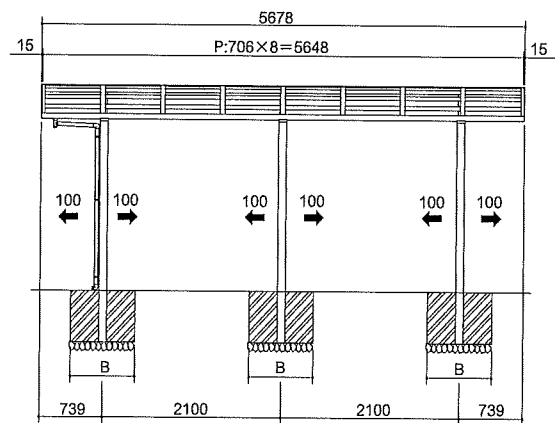
### ■ ファインポートIIワイドZ-L

- ・本図は間口54タイプを示す。  
36タイプは〔 〕内、42タイプは「 」内、48タイプは〈 〉内  
51タイプは[ ]内、60タイプはく 〉内に示す。
- ・本図は標準柱タイプを示し、長柱は[ ]内に示す。
- ・→は柱移動範囲を表します。

[奥行:50]



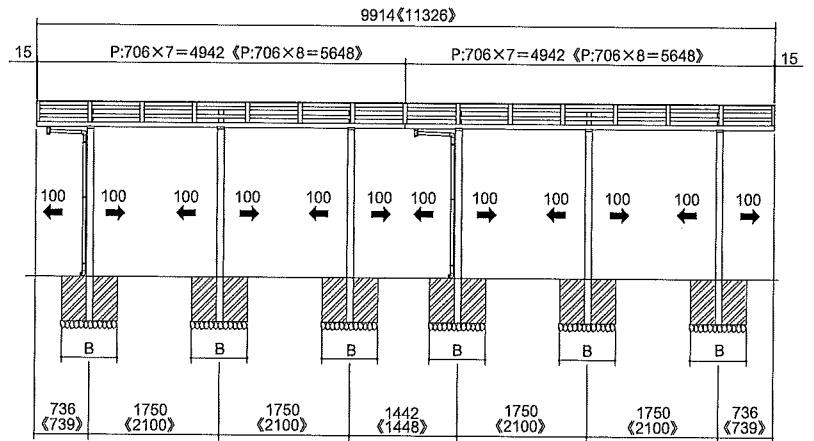
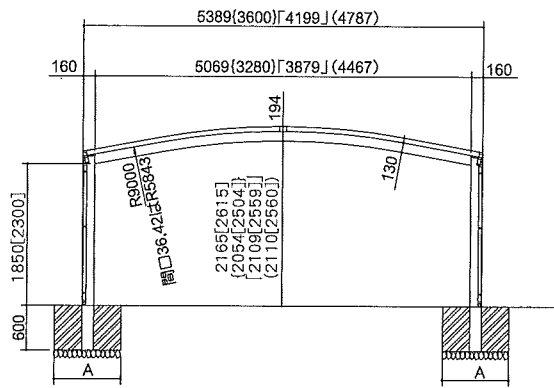
[奥行:57]



■ **納まり図** [基礎寸法A,Bは、3ページの『基礎寸法表』を参照してください。]

■ **ファインポートIIワイドZ-L 連棟・延長納まり図**

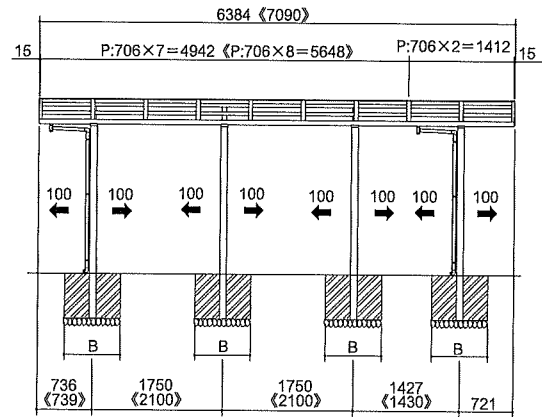
**連棟** [奥行：50+50] [奥行：57+57]



● 連棟・延長部の基礎寸法は、単体の基礎寸法と同じです。

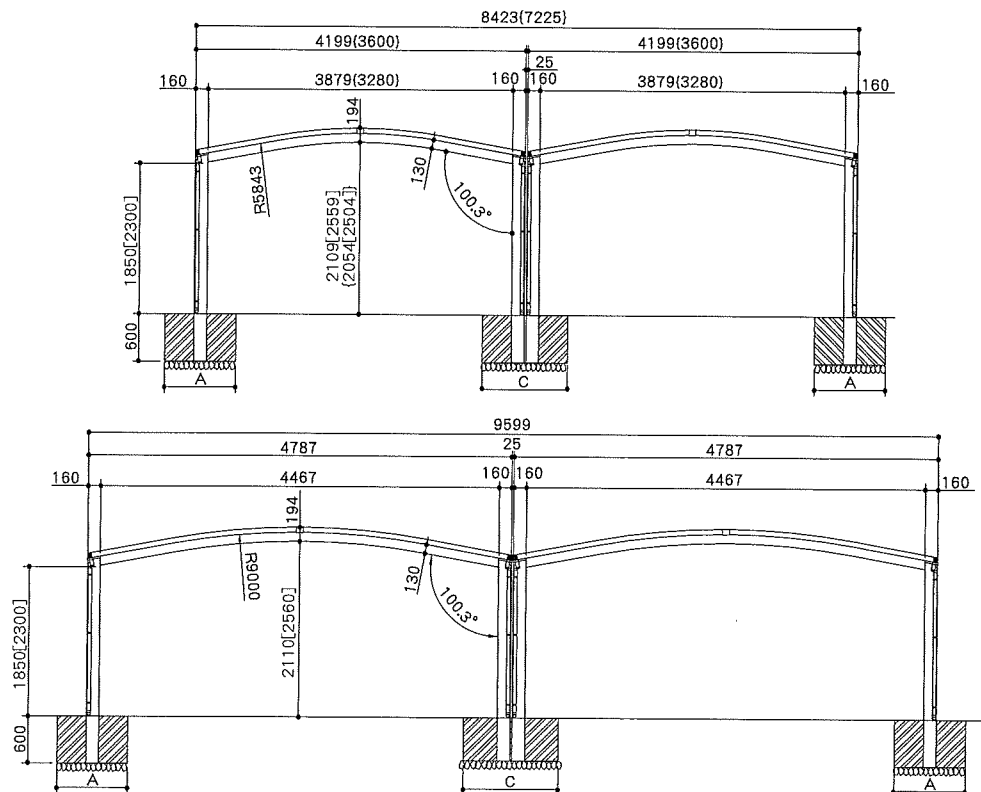
- 本図は間口64を示し、36タイプは ( ) 内に、42タイプは「」内、48タイプは ( ) 内に示す。
- 本図は標準柱タイプを示し、長柱は [ ] 内に示す。
- 本図は奥行50タイプを示し、奥行57タイプは《 》内に示す。
- → は柱移動範囲を表します。
- 床面積50mを超える納まりはできません。

**延長** [奥行：50+14] [奥行：57+14]



■ **ファインポートIIワイドZ-L 横連棟納まり図**

- 本図は間口42+42、48+48タイプを示し、36タイプは ( ) 内に示す。
- 本図は標準タイプを示し、長柱は [ ] 内に示す。
- → は柱移動範囲を表します。
- 側面図は単体と同様です。本取付説明書3ページをご参照ください。
- 床面積50mを超える納まりはできません。



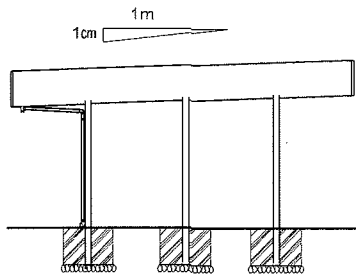
# 1 基礎の施工

- ① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。  
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。
- ② 柱にアンカー棒を差し込んでください。



## ポイント

- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。



注意表示ラベルの貼り替え  
柱に貼られている積雪20cm仕様の注意表示ラベルを剥がし、積雪40cm仕様の注意表示ラベル(ML-1064)に貼り替えてください。

# 2 はりの取付け

- ① 柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、セムスボルトで固定してください。
- ② 柱キャップを取付けてください。



ボルト締め付けの際はインパクトドライバーの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまふことがあります。

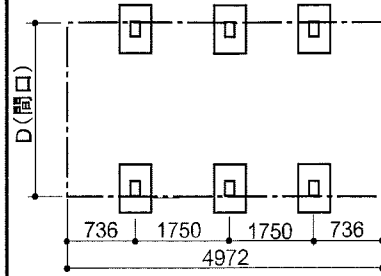


工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。

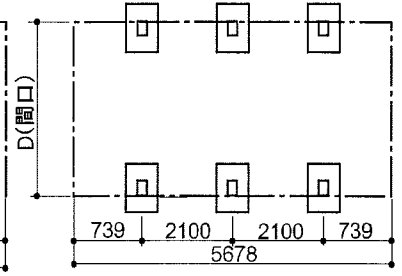


柱、梁、ジョイナーの組合せを表(右記)で確認し、正しく施工してください。(連棟・延長時)

## ● 奥行50タイプ



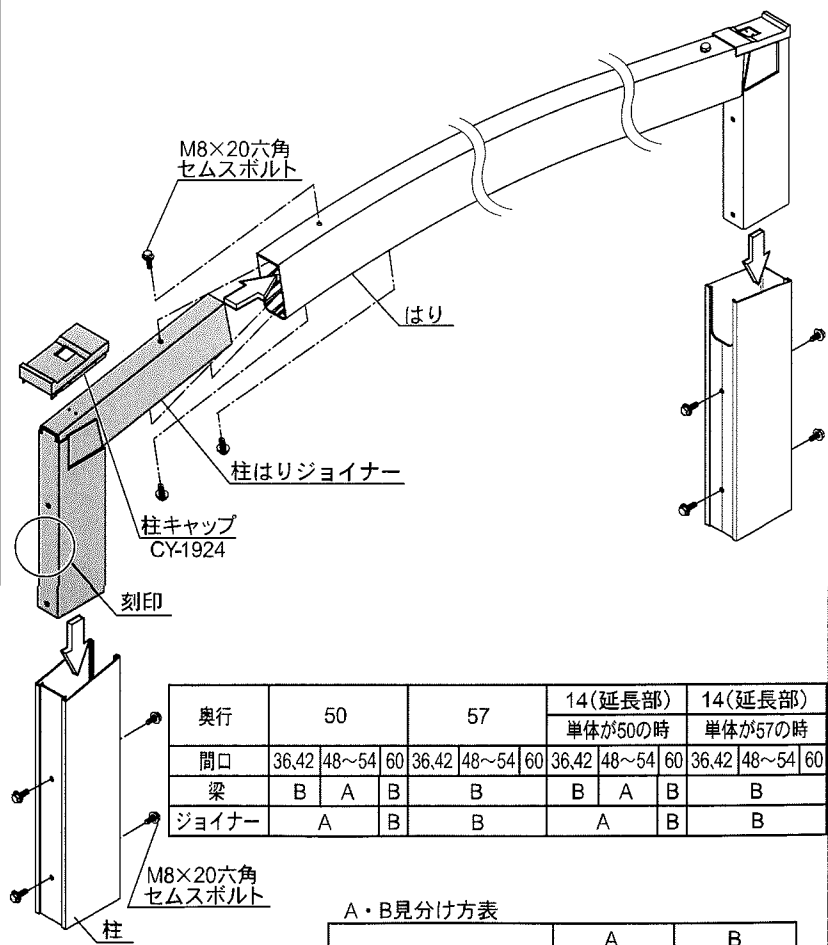
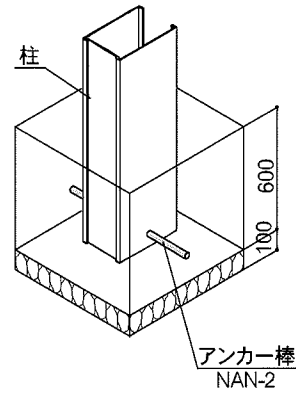
## ● 奥行57タイプ



サイズ呼称	D:間口(mm)
36	3600
42	4199
48	4787
51	5086
54	5389
60	5954

外側

内側



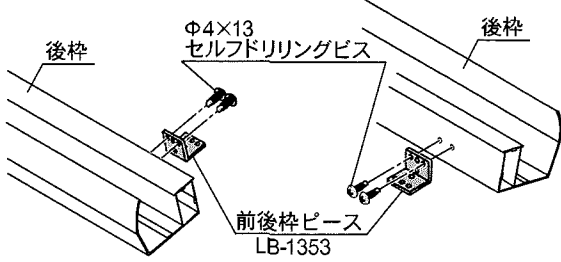
奥行	50			57			14(延長部) 単体が50の時			14(延長部) 単体が57の時		
	36,42	48~54	60	36,42	48~54	60	36,42	48~54	60	36,42	48~54	60
間口	B	A	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B
梁	A			B			A			B		
ジョイナー	A			B			A			B		

A・B見分け方表

	A	B
梁	梱包ラベルにより確認	
ジョイナーの刻印	EB-2181	EB-2182

### 3 棟、後枠、母屋の取付け

① 後枠に前後枠ピースを取り付けてください。



② 後枠を柱キャップにのせ、柱に前後枠ピースをビス止めしてください。

③ 母屋、棟をはりにビス止めしてください。



ポイント

● 母屋には向きがあります。右図を参考に取付けてください。



ポイント

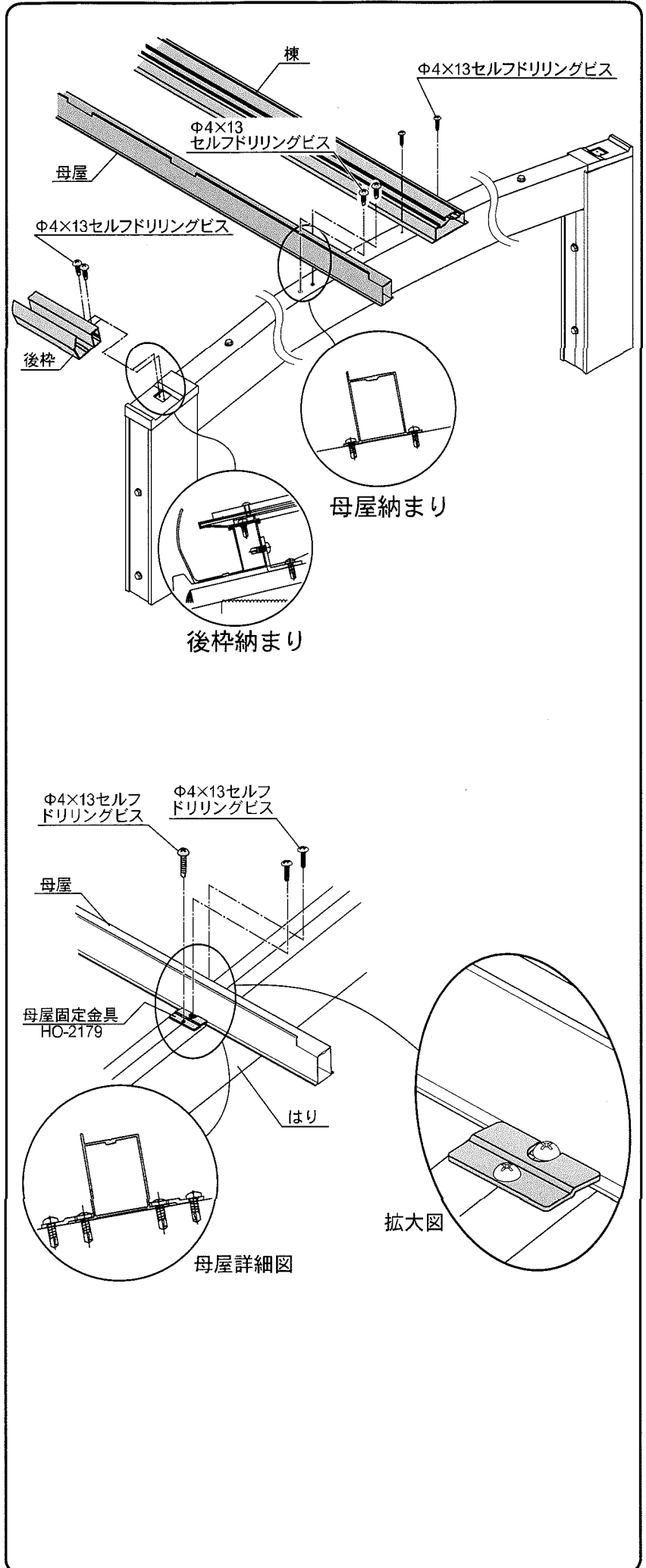
柱移動する場合は母屋、後枠、棟に孔加工が必要になります。使用しなくなった孔には孔ふさぎシールを貼付けてください。

④ 母屋固定金具を取り付けてください。



ポイント

● 母屋固定金具は、はり中央のノッチを目印に母屋詳細図のように取り付けてください。



## 4 側枠・たる木の取付け

- ① たる木を棟、後枠の取付孔部と母屋の切り欠き部に合わせビス止めしてください。後枠は後枠ピースがスライドしますので後枠ピースの位置を調整し後枠のたる木取付孔にビス止めしてください。
- ② 側枠、後枠の両端切口にコーキングを施し、側枠に後枠キャップ、棟排水部品を取付けてください。



### ポイント

- 後枠キャップには左右があります。

- ③ 側枠を棟、後枠、母屋に取付けてください。
- ④ 棟キャップを取付けてください。



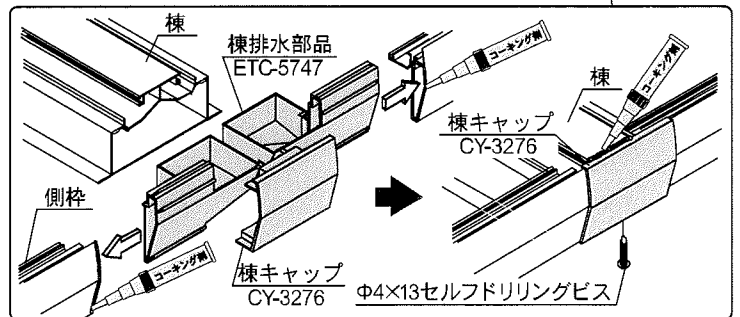
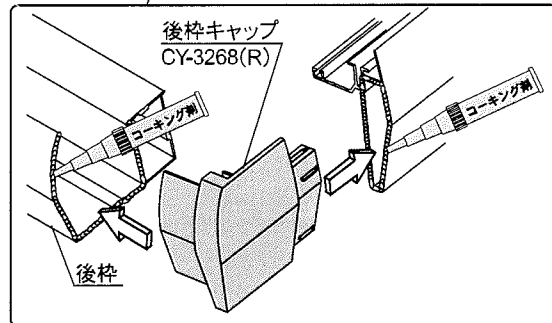
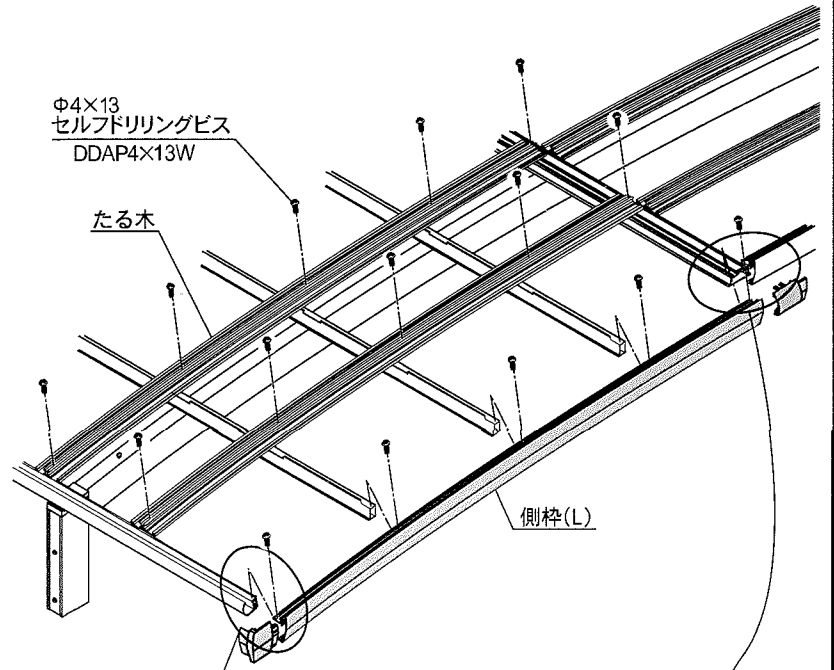
### ポイント

- 側枠には左右があります。  
銘板シール付きを右(間口側から見て)に取付けてください。



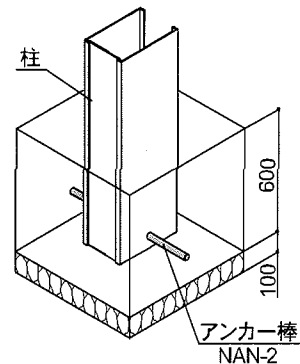
### ポイント

- たる木取付けビスはφ4×13セルフドリリングビスを使用しています。  
電動ドライバーをご使用ください。



## 5 コンクリートの打ち込み

- ① 柱のアンカー棒を確認してください。
- ② 屋根の対角、柱の間隔・垂直・平行寸法が正しくでているか確認してください。
- ③ コンクリートを流し込んでください。
- ④ コンクリートが固まるまで養生してください。(4日～1週間程度)



## 6 屋根材および押え材の取付け

- ① 後枠の後枠ピースをたる木とたる木の真中に来るよう調整してください。
- ② 屋根材は先に後枠ピースに突き当たるまで差し込んでから棟側へ入れてください。
- ③ 棟のビード部に押え材を押し当て、棟側から後枠方向へビス止めしてください。

**!** 押え材の取付け時にインパクトドライバは使用しないでください。

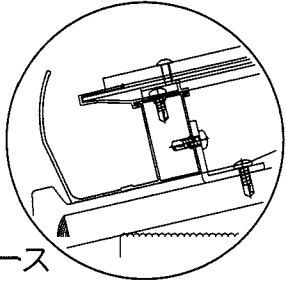
**!** 押え材取付け時に、ビスのから回りを防ぐために締め付けトルク15kgf・cm以下でビス止めしてください。

**!** ビスがから回りをした時は、ペンチで垂木の溝を狭くしてから止め直してください。

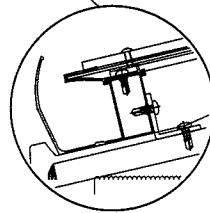
### 👉 ポイント

後枠ピース  
屋根材部納まり

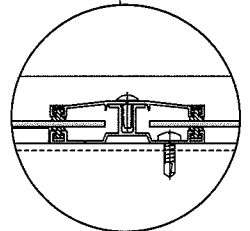
屋根材を後枠ピース  
に押し当てる。



後枠ピース  
屋根材部納まり



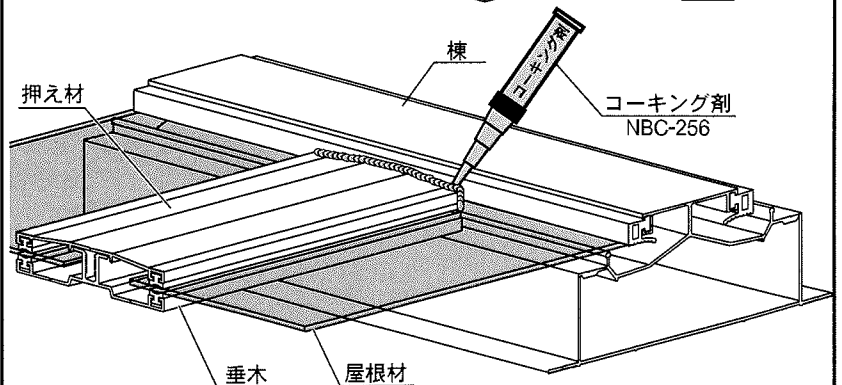
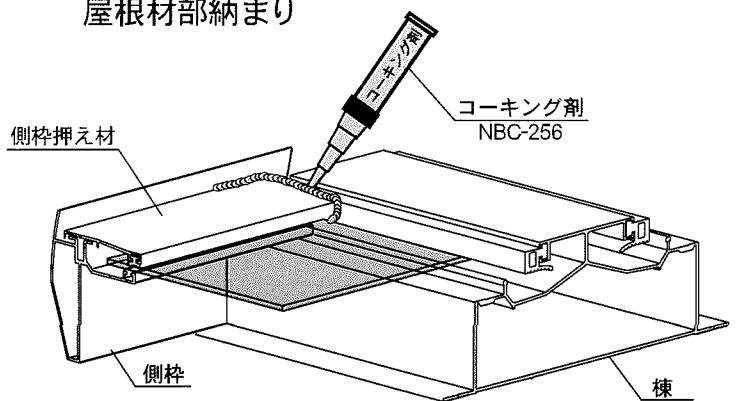
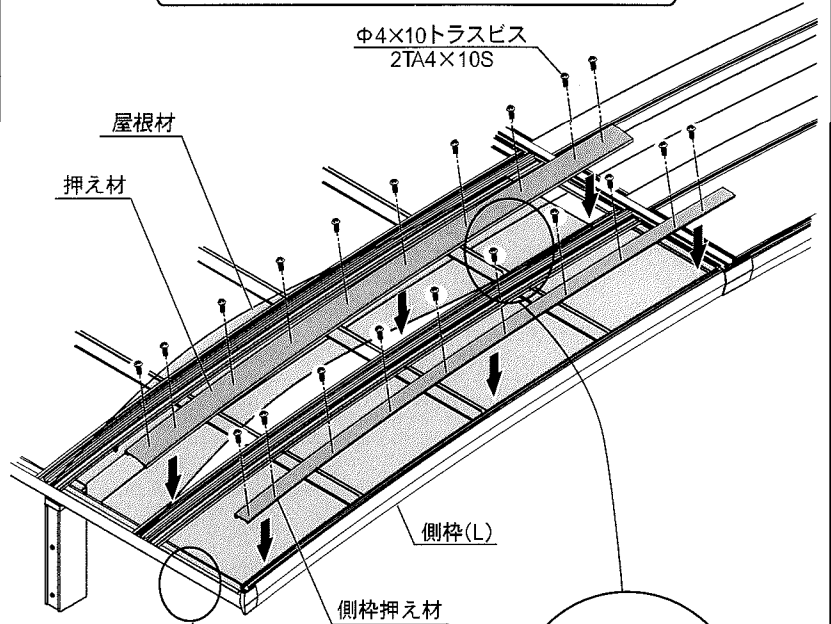
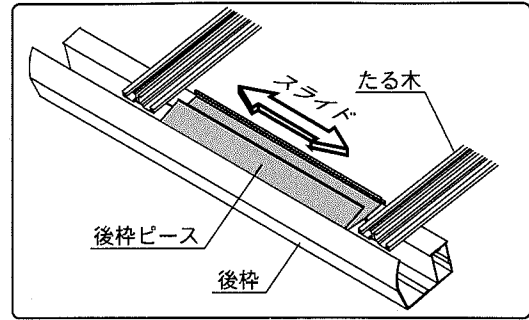
たる木押え材納まり



- ④ 側枠・中間部の押え材が棟ビードへ突当たる部分には、必ずコーキングを施してください。

### ! お願い

- コーキングは確実に行ってください。コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。



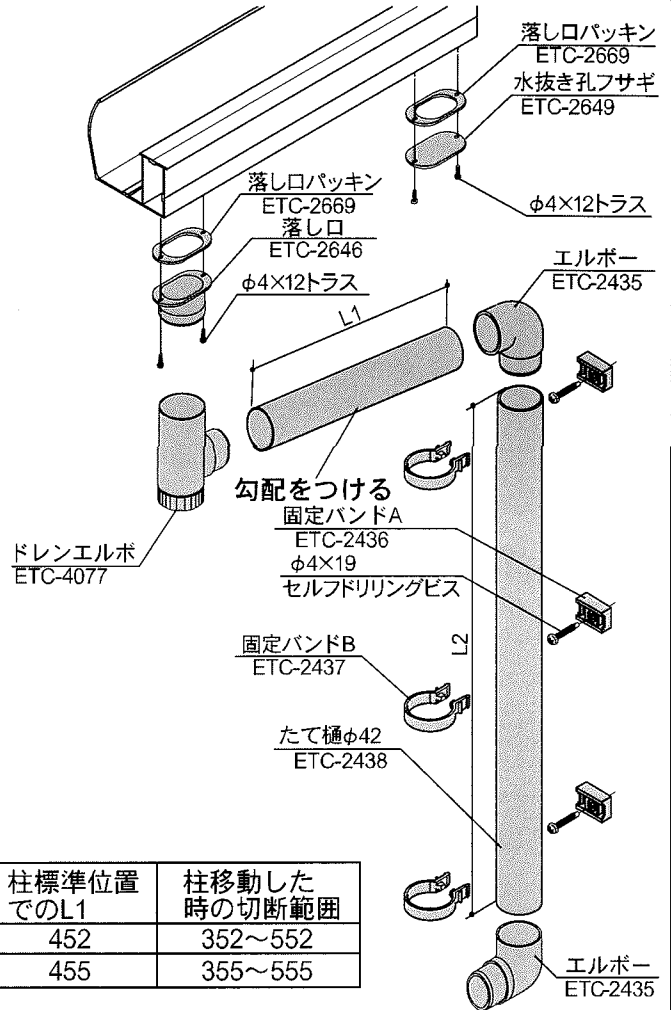
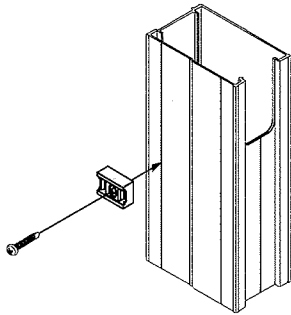


## 7 雨樋の組立

- ① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。(L1寸法は下表を参照ください)
- ② 後枠の両端にある加工孔の片側(水勾配の下側)に落し口パッキン・落し口を取付けます。
- ③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
- ④ 柱3ヶ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにてたて樋を固定してください。
- ⑤ 使用しない後枠水抜き加工孔には落し口パッキン・水抜き孔ふさぎを取付けてください。

### ポイント

- 横樋(L1部分)は勾配をつけてください。
- 固定バンドは、下図のように柱の溝にφ4×19セルフドリリングビスで固定してください。



[参考寸法]

	柱標準位置でのL1	柱移動した時の切断範囲
L:50	452	352~552
L:57	455	355~555

## ○ 施工完了時の注意事項

- ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
- 「お取扱いの手引き」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この取付説明書は、施工終了後施主様にお渡ししてください。

## ● オプション品のご紹介

本カーポートには下記のオプションがございます。

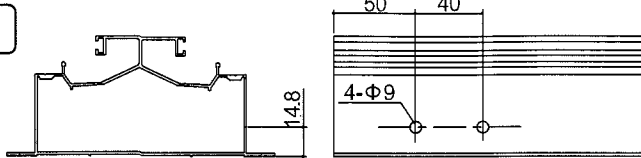
- ① 延長部品
- ② 物干し
- ③ 連棟部品
- ④ 横連棟部品

各梱包内の取付説明書をご覧ください。

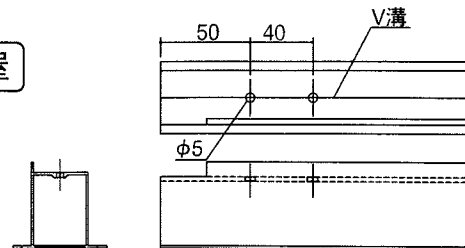
# 連棟部・延長部の組立

① 連結部の組立て前に、以下の加工を施してください。(延長用母屋を除く)

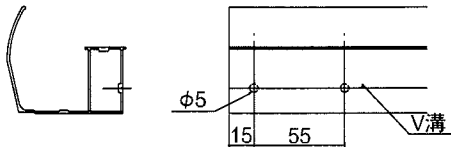
棟



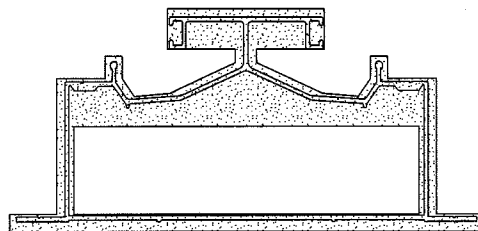
母屋



後枠



● 棟連結部に図の様にパッキンを貼付けて棟連結ブラケットを差し込んでください。



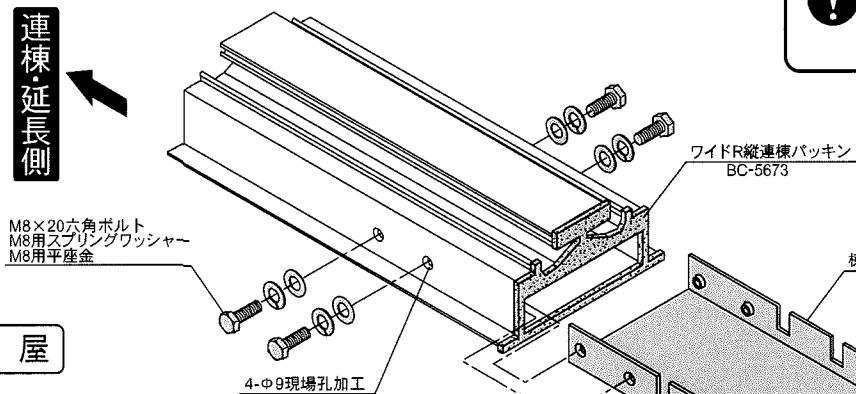
ワイドR縦連棟パッキン BC-5673

- ② 本取付説明書 5 ページ基礎の組立て、はりの取付けを参照し施工してください。
- ③ 後枠を柱、母屋・棟をはりに固定してください。
- ④ 棟連結部にパッキンを貼付けてください。

⑤ 下図を参照して棟、後枠、母屋を連結してください。

棟

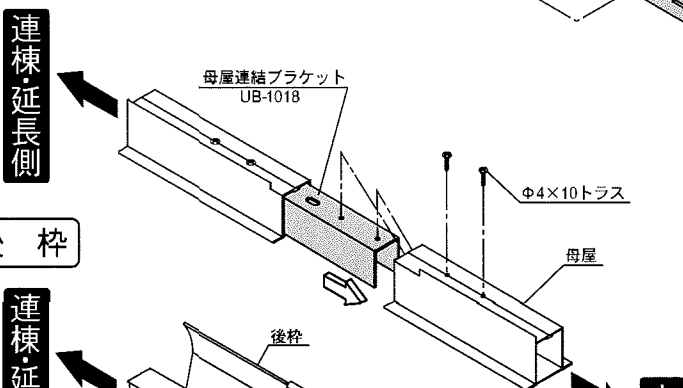
連棟・延長側



❗ 各部のねじれの発生がない様ご注意ください。

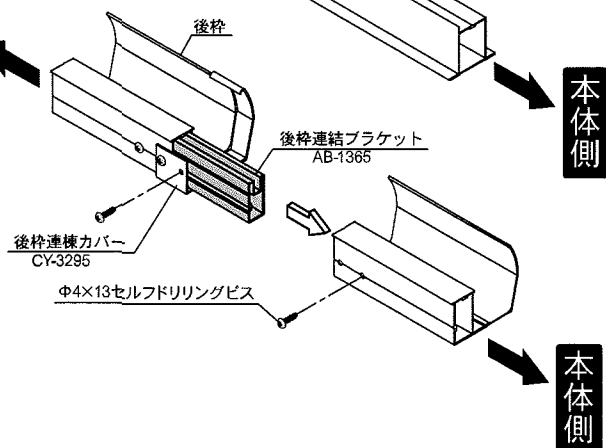
母屋

連棟延長側



後枠

連棟延長側



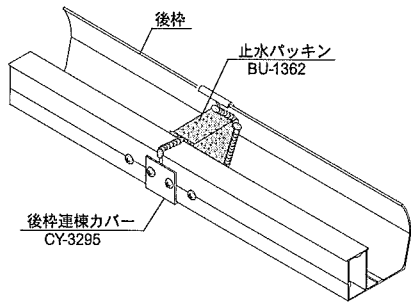
本体側

本体側

## ポイント

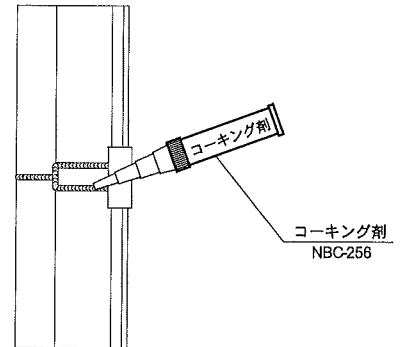
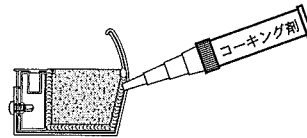
- 後枠連結ブラケットには1箇所のみ、下穴が空いています。下穴にて位置決めした後はφ4×13セルフドリリングビスで計4箇所ビス止めしてください。その際、中央部2箇所は後枠連棟カバーと共締めしてください。

- ⑥ 後枠の連結部が中心になるように、止水パッキンを取付け、コーキングしてください。

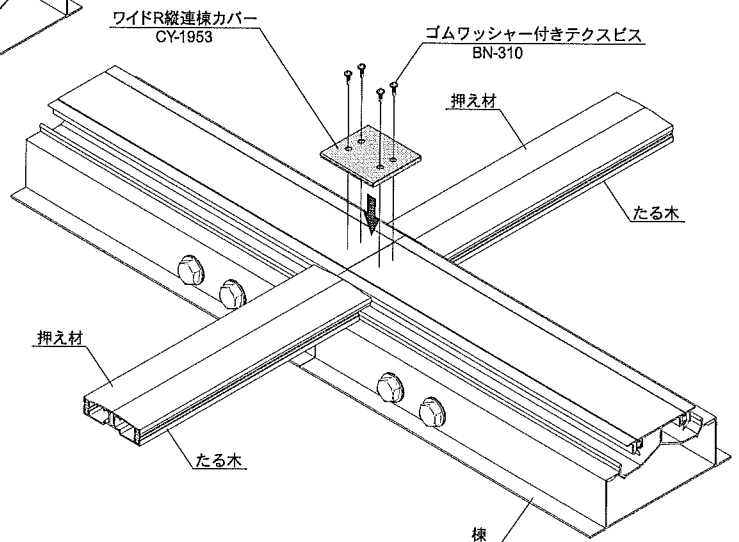
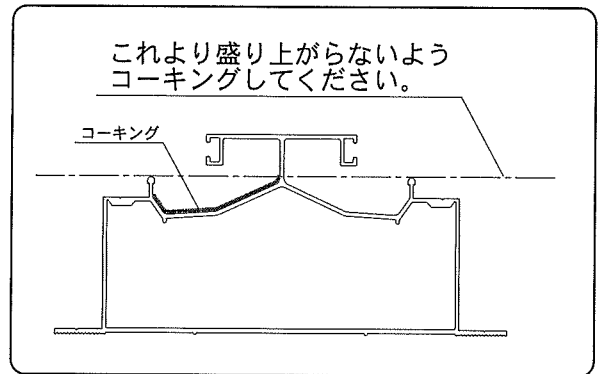
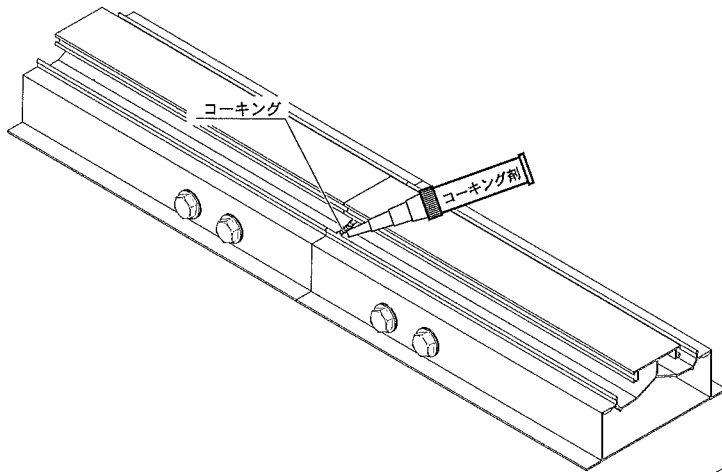


**!** お願い

コーキングは確実に行ってください。  
コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。



- ⑦ 棟連結部にコーキングを施してください。  
⑧ 縦連棟カバーを取付けてください。  
⑨ 本施工説明書 6~9ページを参照して以後の施工を行ってください。



**■ 施工工事店様、販売店様へのお願**


- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店	TEL ( )	-	
販 売 店	TEL ( )	-	

**株式会社LIXIL**

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

 0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ  
<http://www.shinnikkei.co.jp>